

事業番号	4
------	---

平成24年度事業評価シート（平成23年度事業の評価）

1. 事業の概要

事業名	家庭教育推進事業(ふたば学級・青空学級)				担当課	社会教育課	
事業期間	開始年度	昭和50年度 ~	終了予定年度		担当係	社会教育係	
総合計画	めざすまちの姿	1 人が育つまち					
	目標	① 豊かな人間性の基礎を築く（乳幼児）					
	成果指標	対象者に対する参加率			中間目標 (H27)	50%	最終目標 (H32)
予算区分	一般会計	10 款 教育費	6 項 社会教育	2 目 生涯学習推進費			
	細事業	284 生涯学習推進費					
位置づけ	関連計画						
	根拠法令						
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 ・ <input type="checkbox"/> 国 ・ <input type="checkbox"/> 県 ・ <input type="checkbox"/> その他						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他（						
対象(誰のため)	<input type="checkbox"/> 全市民 <input checked="" type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input type="checkbox"/> その他 未就園児						
事業の目的 (何のため)	幼児が豊かな人間性を身につけていく基礎を築く。						
内容(概要)	幼児を持つ親が子育ての方法や姿勢を学ぶための「ふたば学級」「青空学級」を開催することにより、家庭教育の充実を図る。						
これまでの改善・ 見直しの状況	H23 開講式は大規模地区（鷺津・岡崎・新居）について、一度に行ってみたが、騒然となってしまって上手くいかなかった。						

2. コスト

(単位:千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度事業費
事業費	予算	1,004	1,385	1,102
	決算	845	853	
財源内訳	国庫支出金			(内訳)
	県支出金			物件費(消耗品費、食糧費、役務費)
	地方債			補助費等(報償金)
	その他			
	一般財源	845	853	1,102
職員人件費	1,533	523	995	人工 0.1 人

3. 事業の評価

事業の実施状況

活動指標	内容		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率
	対象者に対する参加率	%	目標	50%	50%	50%	92%
			実績	51.2%	46.1%		
	学級生の満足度	%	目標	80%	80%	80%	106%
			実績	85.0%	84.9%		
			目標				
			実績				

実績・改善	平成23年度活動内容	・ふたば学級講座開催（全8回） 市内の該当者へ通知を送付し、参加は任意ではあるが毎年半分近くの方の申し込みがある。講座終了後には毎回アンケートを取り、満足度調査を行っているが、例年平均80%を越える高水準となっており、この事業が家庭教育の充実に貢献している。		
	課題・問題点となった事項	講座を開催するに当たり、1つのクラスが地区によってばらつきがある。 かなり大所帯な地区もあり、講座運営が困難な地区もある。		
	どう対処したか	人数が多い地区については講座生を分散させるなど対策を講じているが、増やすにも限界がある。講座を担当する社会教育指導員の負担もその分増え、会場や講師の予定も考慮しなくてはならないため、一概にどんどん増やしていけばいいという訳ではない。とはいえ需要があるので受け入れ体制を作っていかなければならないので、現状としては託児員の数を増やし、1つの教室でなるべく多くの講座生を受け入れることが出来る体制を整えている。		
	改善点	講座内容を見直し、教室数が増えて講師の先生の負担が増えたことにより、1講座減らし全7回とした。	効果額 H24-H23 (千円)	72千円

自己評価	事業目的の達成状況	家庭教育の充実をさらに図るよう、当面の目標である50%を目指して参加してもらうよう働きかけを行う。				
	※必要性 事業を廃止・休止したときの影響	家庭の教育力は核家族化が進むとともに年々弱くなっており、事業の更なる充実が求められる。				
	判定	A 継続	現行の内容で実施	事業主体	市	
	判定理由	必要性でも記載したとおり、家庭の教育力は年々弱くなっている。ふたば学級に参加いただいている方については、アンケートにより満足度（5段階評価で4か5の率）が80%を越えているため、継続して事業を行う。				
	今後の方向性	講座の内容をアンケートを基に見直し、さらなる内容の充実化を図っていく。				